

目標達成計画

作成日: 平成 23年 10月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	自治体に入会しているが、日常的に地域の人との交流の場が少ないので、地域活動に積極的な参加・交流を深める必要がある。	施設の運営推進会議に、自治会等の地域の方の参加をお願いし、また地域に開かれた施設となる為に、地域の方々の参加できる行事を企画するとともに、地域の行事などにも積極的に入居者様に参加していただく。	自治会の会長様にごあいさつに上がり、運営推進会議への参加をお願いする。また、こちらの行事等の企画を定期的(月1回程度)お知らせすることで、地域の方へのご参加に協力していただくようにする。	3ヶ月
2	6	利用者の人権を守ることがケアの基本であるという認識に立ち、安全を確保しつつ抑圧感のない自由な暮らしができる取り組みを行う必要がある。特に窓・ユニット出入り口の施錠に関して、入居者様の移動の制限を取り除く必要がある。	環境面での抑制ととられるような、窓や出入り口の施錠に関して、入居者様が自由に出入りできる環境を整備する。	窓の施錠に関しては、24時間鍵をかけないこととし、ユニット出入り口の施錠に関しては、1日の間に開放する時間を作り、最終的には日中は開放できるようにする。その間にスタッフは安全確保に関する意識を持ち、勉強会などの開催などで、入居者様が自由に移動しながらも安全を確保できる体制づくりを行う。	12ヶ月
3	1	法人の理念の共有を図っているが、事業所独自の理念がなく、地域生活の援助に即した理念の構築が必要である。	各職員の目標・地域生活に即した、事業所独自の理念を構築する。	職員が主体になり、理念の構築に必要な会議を設定し、理念の構築をすすめていく。	3ヶ月
4	35	災害対策について、消防の指導の下、避難訓練や災害時の対策に取り組めていないので、取り組む必要がある。また、時間帯別の避難訓練などの実施もできていない状態である。	非常災害対策は、消防指導の下、行う。また、職員の意識向上のための話し合い、訓練を定期的に行い、非常災害に対する対策・計画を策定する。	時間帯別の避難訓練を定期的(年4回程度)に実施、また、非常災害に関する話し合いを毎月のフロア会議に議題として挙げ、非常時の対策を検討する機会を設ける。平成23年中には消防の指導の下、避難訓練の実施を行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。